

# 平成21年度自己評価表及び平成22年度改善方策

<b>教育方針</b>	日本国憲法と教育基本法及び学校教育法の精神に基づき真理を探究し正義を愛し、高い知性と豊かな情操及び積極進取の気風に富む心身ともに健全な人物を養成し、国家及び社会の有為な形成者の育成を期する。	<b>重点目標</b>	校訓（自律・自尊・克己）のもと、 1 知性を高め、情操を豊かにし、個性の伸長を図る。 2 互いに敬愛し、協調して根気強くやり遂げる態度を育てる。 3 心身の健全な発達を図り、自主性・積極性・創造性を養う。
領域	評価項目	具体的目標	次年度の改善方策
<b>学習指導</b>	家庭学習の充実	家庭学習時間の確保（一日3時間）を図り、主体的に学習に取り組む姿勢を養う。	土日を含め、普段の家庭学習時間確保の工夫・改善、学習意欲を高めるような課題の出し方について、各教科で連携を図り研究したい。
	教科指導の充実	基礎・基本を大切にし、生徒が参加し、よく分かる授業の実践に努める。	習熟度等、生徒たちがより興味・関心を持てるような授業展開を考え、個々に応じた指導方法について研究していきたい。
		研修や、相互の参観授業などを通して、指導力の向上に努める。	教科会を充実させ、教師一人ひとりの指導力をアップさせたい。また、校内での相互の授業参観が積極的に行えるよう、工夫していきたい。
<b>生徒指導</b>	基本的な生活習慣の確立	基本的な生活習慣の確立に努め、遅刻・欠席率1%以内を目指す。	1年次における、しつけ指導を徹底する。家庭との連携を図り、常習者の指導を工夫する。
		全教職員の共通理解のもと、マナーアップやルール遵守の精神を養い、非行ゼロを目指す。	教員の共通理解をより一層高め、日頃の呼びかけを大切にして、非行ゼロを目指す。また、家庭や地域との連携を更に充実させたい。
	個人面接の強化	個別面談の充実を図り、一人ひとりの生徒理解に努めるとともに、やる気を引き出し、あきらめない気持ちを育てる。	面接期間だけにかかわらず、教員の方から積極的に生徒と触れ合う時間を作り、生徒理解ができるよう努力したい。また、家庭との連携のもと、個別指導を更に充実させたい。
<b>進路指導</b>	進学指導の充実	基礎学力の定着と個別指導の充実を図りながら、保護者と一体になって、志望にあった進学を実現させる。	進学補習（SUT）を更に工夫改善するとともに、早い時期からの進路選択、明確な目的意識の確立に努め、生徒の志望する進路への合格に向けて、進路指導を充実させたい。4年生大学への進学意欲を育てたい。
	就職指導の充実	インターンシップなどを通して、望ましい勤労観・職業観を育てながら、保護者と一体になって志望にあった就職を実現させる。	早い時期からの進路選択、明確な目的意識の確立に努め、基礎学力とコミュニケーション能力を高め、学校斡旋就職率100%を目指す。
<b>その他</b>	部活動の充実	部活動の加入率100%をめざし、各種競技会で好成績を収めることが出来るよう指導に努め、学校の活性化に繋げる。	推薦入試なども活用し、有望な生徒の勧誘に努めたい。また、部の統廃合・精選を考えると共に、女子部の活性化を図りたい。
	読書活動の充実	「朝の読書」の時間を工夫・改善するとともに、図書貸出数のアップ（一人あたり年間3冊）を目指す。	生徒・全教職員一体となった朝読書の在り方を工夫し、漢字の読み書きの指導にも力を入れていきたい。
	地域社会との連携	地域との連携のもと、勤労や奉仕に関わる活動に参加し、社会や地域に貢献しようとする意欲ある生徒の育成に努める。また、学校の教育活動を、積極的に地域に発信する。	地域に貢献できる行事等について、情報を収集し生徒に配信するとともに、ホームページの更新など、一層の情報発信に努めたい。

